

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E140A008		小学校におけるプログラミング教育(Programming education in elementary School)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	2	1~4 (R4年度入学生まで) 、2~4 (R5年度入学)	教育学部 令和2年度以降入学生用			氏名 市原靖士, 中原久志, 杉山昇太郎 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp (中原) 内線 7590 (中原)											
授業の概要	小学校におけるプログラミング教育について概説するとともに、カリキュラム開発や題材開発等の実習を通してプログラミング活動に関する指導力を養う。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 小学校におけるプログラミング教育について基礎的な知識・技能を習得する																	
目標2 カリキュラム及び題材開発実習を通して実践的指導力を身につける																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション (担当: 中原)																	
2 現代社会とプログラミング教育 (担当: 中原)																	
3 小学校プログラミング教育の考え方 (担当: 中原)																	
4 プログラミング的思考の要素 (担当: 中原)																	
5 教科等に応じたプログラミング活動の実際 (担当: 中原)																	
6 アンブラグドコンピューティング (担当: 杉山)																	
7 ビジュアルプログラミング (1) ソフトウェア型 (担当: 杉山)																	
8 ビジュアルプログラミング (2) ソフトウェア型 (担当: 杉山)																	
9 ビジュアルプログラミング (3) IoT型 (担当: 杉山)																	
10 ビジュアルプログラミング (4) ロボット型 (担当: 杉山)																	
11 ビジュアルプログラミング (5) ロボット型 (担当: 杉山)																	
12 その他のプログラミング (担当: 杉山)																	
13 プログラミング活動を取り入れたカリキュラム開発実習 (担当: 市原)																	
14 プログラミング活動の題材開発実習 (担当: 市原)																	
15 情報教育とプログラミング教育 (小・中・高の連携) (担当: 中原)																	
ラーニング	A: 知識の定着・確認	実技, ディスカッション, 評価				工夫	その他の										
	B: 意見の表現・交換																
	C: 応用志向																
	D: 知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	事前配布資料を熟読する【15H】															
	事後学修	課題レポートを作成する【15H】															
教科書	随時プリント資料を配付する																
参考書	小・中・高等学校でのプログラミング教育実践 問題解決を目的とした論理的思考力の育成 , 一般社団法人日本産業技術教育学会編, 九州大学出版会 (2019)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	学習への取り組み状況	20%															
	製作物	40%															
	定期考査	40%															
注意事項	受講制限: 20名																
備考																	
リンク	URL																